

道徳通信

大野中学校
教職員研修資料
平成29年7月19日
No.2
道徳推進教師発行

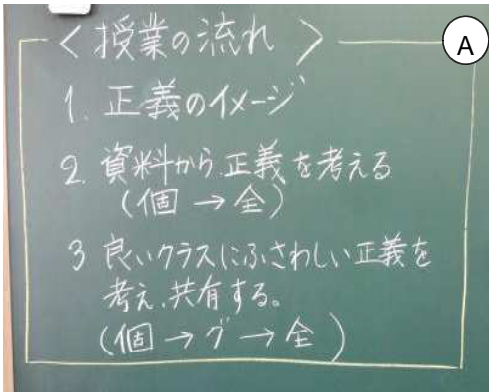
夏休み中、道徳に関する研修を

渡島教育局発行の渡島「こころ」プランー Plus ーに、「柱」が3つ示されています。柱1は『**道徳の指導計画の工夫改善**』です。道徳通信 No. 1 に指導計画について改善点を継続的に記録していくことをお願いしていたところです。

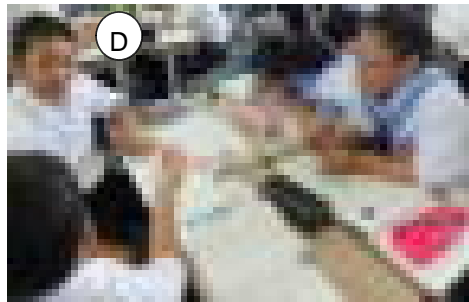
本校の年間計画で特に改善する必要があるのは、『**授業の大まかな展開の仕方**』です。同じ題材の授業でも、あるクラスは個別学習、別のクラスはグループ学習等違いが見られます。授業展開についての大まかな進め方についても『**共有 25 道徳記録**』→『**道徳年間指導計画 修正はこちら**』にどんどん記入していただくと次年度に向けた取組がスムーズになります。各学年の道徳担当の先生に記録をお願いします。

こころプランの柱2は『**道徳科の授業の工夫改善**』です。このことについては、先日 N 先生が実施したミニ校内研の授業を振り返りながら、みなさんで考えてみたいと思います。今回詳しく触れていない柱3は「組織的ないじめ根絶の取組の徹底」です。

- 1 内容項目・題材 C-11.公正、公平、社会正義 「正義ってなに？」
- 2 日時・学級 7/12 (水)・1年C組
- 3 授業の様子



① 事前に授業の見通しを示さず、また、範読副読本をくたなトと
② 写真Aも、N君の議論が深まらな
③ 写真Bも、N君の議論が深まらな
④ 写真Cも、N君の議論が深まらな
⑤ 写真Dも、N君の議論が深まらな



① 事前に授業の見通しを示さず、また、範読副読本をくたなトと
② 写真Aも、N君の議論が深まらな
③ 写真Bも、N君の議論が深まらな
④ 写真Cも、N君の議論が深まらな
⑤ 写真Dも、N君の議論が深まらな

「正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること」を意識しながら N 先生は授業づくりを行っていました。

(裏へ)



③写真Eを見てください。

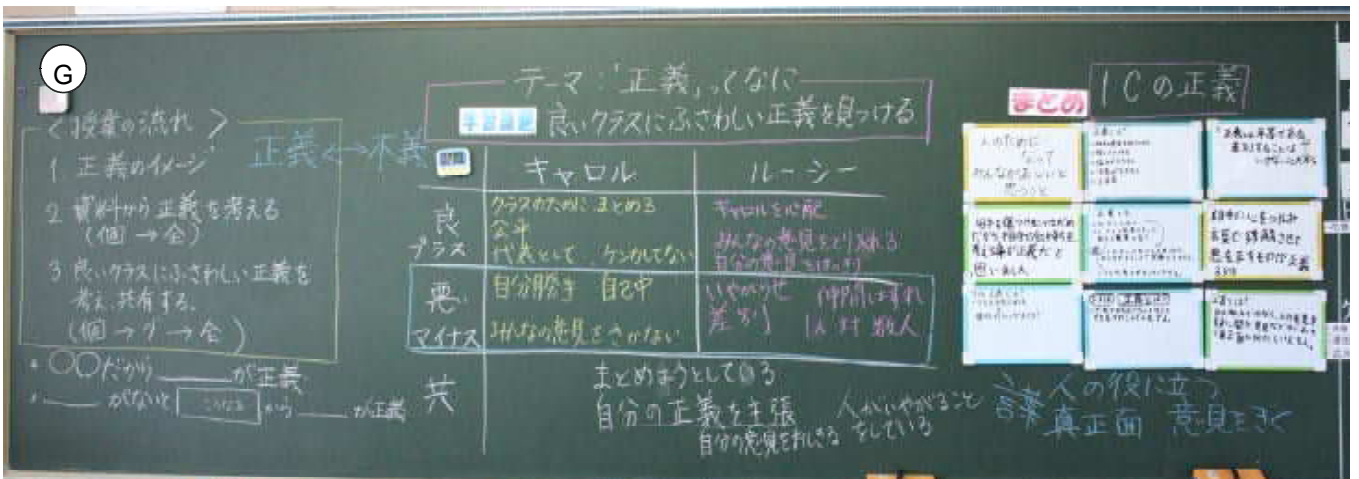
N先生は単に机間巡視をしているのでありません。子どもの意見を読み取りながら、「どの場面でどの生徒に指名するか」を考えながら生徒のワークシートを見ている様子です。

前日のプレ研では、「挙手」で生徒を指名していました。教師が意図的に指名することで、授業の目標達成にグッと近付けることができます。



④道徳科の授業においては「考え議論する道徳」がさかんに言われています。「考える」「議論する」第一歩として写真Fのように、子どもたちの考えを表出させることが大切だと思います。

本授業は副読本の読み取りをとおして、「正義」について多面的に考えることができました。ICの正義は、「人の役に立つ」などであることが写真Gの板書からわかります。



⑤道徳通信第1号で、「課題の提示」と「板書」をしましよと書かせてもらいました。「書く」という作業をとおして、子どもの考えが整理され、次の行動につながっていくのではないかと考えます。

また、教師側の授業力を高めるためには本日の校内研が大変重要になります。発問や、授業形態、生徒の発表の内容等からより良い授業を目指していかなくてはなりません。

新道徳に関する本を読んだり、研究者のお話を聞いたりすることも大切ですが、最も大切なのは自分の授業を見てもらうこと、そして他の教員の授業を見ることなのではないでしょうか。

<夏休み中にぜひ！>

1学期もあと1週間で終わりになります。

道徳科に関する資料と、次期学習指導要領に関わる資料をお配りしました。この資料は一部にすぎませんので、インターネット等で検索してみるとたくさんの資料が出てきます。

筆者が教員になってから3回目の学習指導要領改訂です。次期学習指導要領は過去3回の改定と比較し、より一層事前の周知・徹底が重要とされています。

この夏休みの空き時間を活用し、準備を進めていただきますようお願いいたします。